

平成28年12月14日

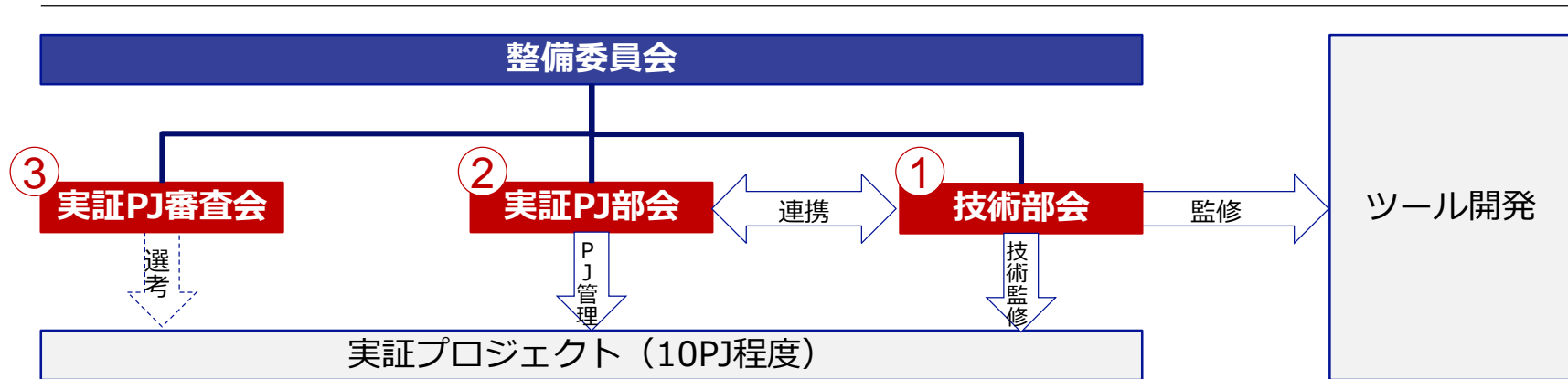
平成28年度「経営力向上・IT基盤整備支援事業（次世代企業間データ連携調査事業）」
業種の垣根を越えたデータ連携システム整備委員会 第一回
「部会に関する運営規則（案）」補足資料

特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会

1. 部会の設置概要

ツール開発の仕様策定や実証PJの審査、管理を行う専門的な会議体として、整備委員会の下に、①技術部会、②実証プロジェクト部会、③実証プロジェクト審査会の3部会を設置・運営する

部会の体制上の位置付け



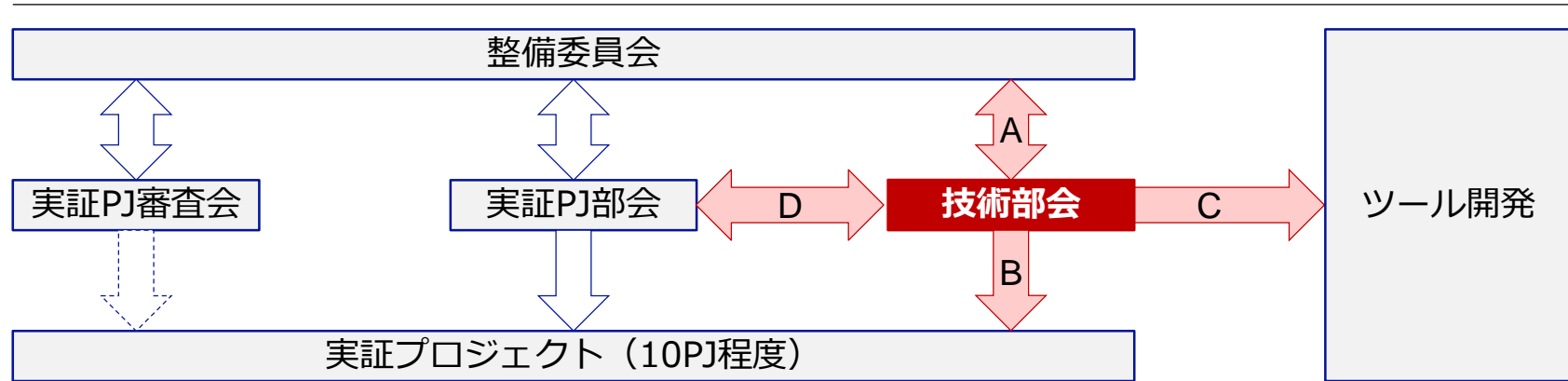
部会の共通概要

- ✓ メンバーは、公正中立の立場で客観的に部会の業務を適切に行うことができる学識経験、専門的知見等を有する者のうちから、委員会が委嘱する。
- ✓ メンバーの任期は、本事業終了までとする。
- ✓ 部会に部会長を置き、委員会が委嘱する。
- ✓ 会議の議事は、出席した委員の合意をもって決することを原則とする。ただし、必要に応じて多数決をもって決する。

2. ①技術部会

技術部会は、実証仕様に対する技術的な監修、データ連携支援ツールの開発に対する監修を行う

事業運営体制における技術部会



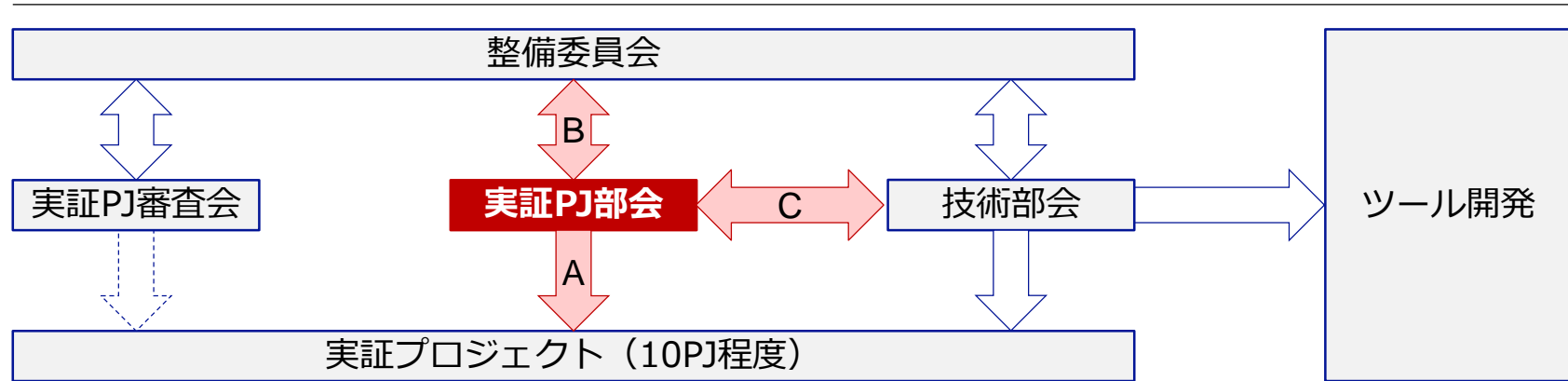
技術部会の主な業務・役割

- A) 活動成果を技術報告書として整備委員会へ提出
データ連携基盤の金融連携、IoT連携への拡張仕様提案を策定し提案
- B) 実証プロジェクトの技術提案の審査
公募要領で示した実証プロジェクトの要件と異なる技術提案に対して対応を検討
- C) データ連携支援ツール開発の仕様策定
開発成果物の技術審査
- D) 実証プロジェクト部会と密な連携

3. ②実証プロジェクト部会

実証プロジェクト部会は、実証プロジェクト全体に対するプロジェクト管理を行う

事業運営体制における実証プロジェクト部会

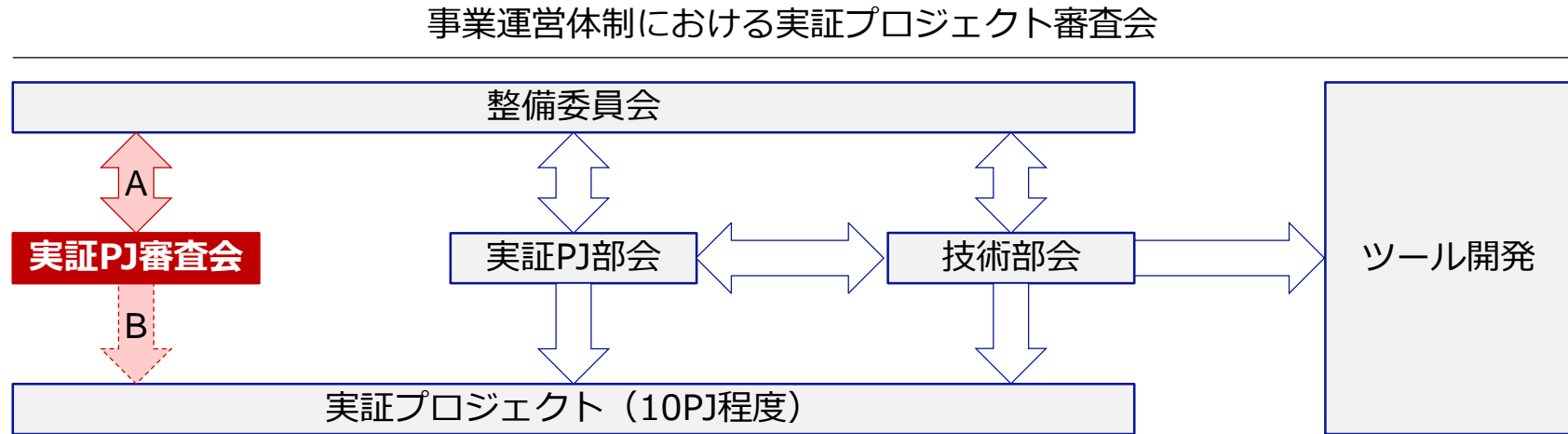


実証プロジェクト部会の主な業務・役割

- A) 実証プロジェクトの実施要領の策定
実証プロジェクトの申請書の事前評価
実証プロジェクト全体のプロジェクト管理（進捗管理、課題管理、成果物確認等）を実施
- B) 実証プロジェクトの進捗、成果を整備委員会へ適宜報告
活動結果をプロジェクト報告書としてまとめ整備委員会へ提出
事業終了後も自走する計画を立案し、整備委員会へ提言
- C) 技術部会と密な連携

4. ③実証プロジェクト審査会

実証プロジェクト審査会は、公募により集まった実証プロジェクト候補の審査を行う



実証プロジェクト審査会の主な業務・役割

- A) 実証プロジェクトを選考し、整備委員会へ報告
- B) 公募により集まった実証プロジェクト候補を評価



**ITコーディネータはIT経営を実現する
プロフェッショナルです**